

上手な薬剤選択と早い散布で防除実施率・効果UPへ！

～小麦雪腐病の効果的な薬剤と防除薬剤を確認～ 当別町

1 課題設定の背景

当別町は、水田転作の6割以上を小麦作付が占める。近年、多雪年が続き根雪期間も長期化し、平成24年産以降は小麦雪腐病の被害面積・廃耕面積が多くなっている。

特に平成24年産は、根雪始が早く、根雪直前の雪腐病防除前に根雪となったこと、秋の長雨で排水対策が不十分であったことも被害拡大の要因であった。

また、長年、農家から「雪腐病防除は、防除効果が判然としない、実施しても被害がある」等の声も聞かれ、防除実施率の低迷が続いていた。

平成25年度試験場から雪腐病防除時期を早めても効果の高い薬剤が指導参考として示され冬損が出やすい「ゆめちから」導入と合わせて、雪腐病防除の実施拡大に向けて取り組んだ。

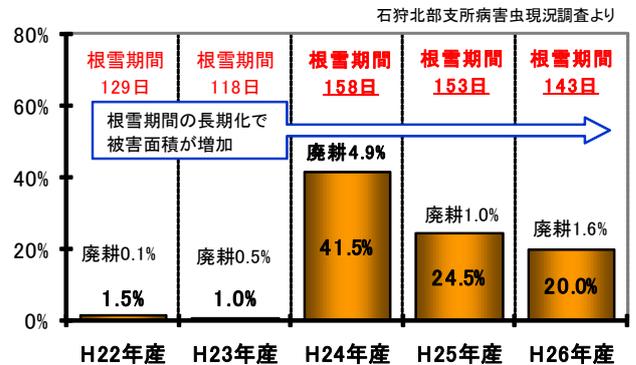
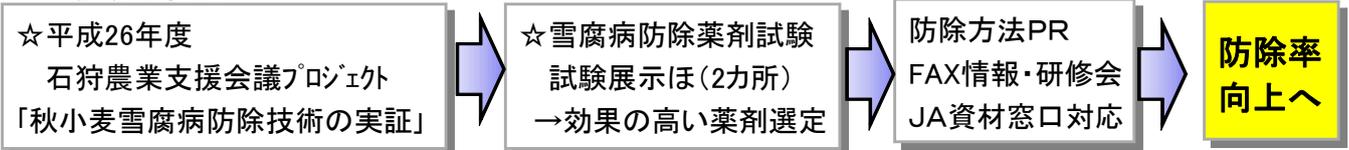


図1 近年の小麦雪腐病被害面積率（石狩北部）

2 活動の経過



※地域の雪腐病の種類と、それに伴う効果の高い薬剤の確認と防除のポイントを整理

3 活動成果

防除薬剤試験で効果の高い薬剤を選定！



○Before After (越冬前：上段 越冬後：下段)

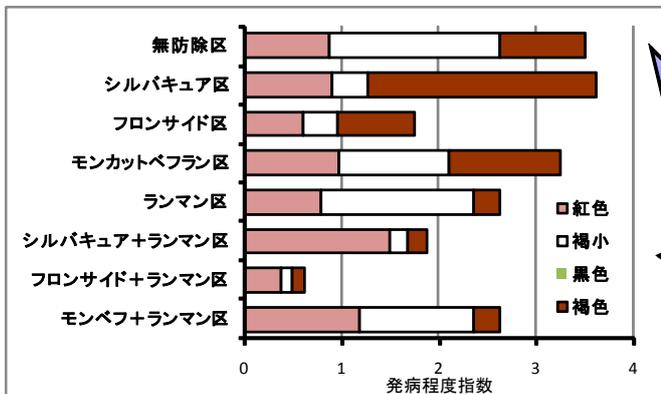
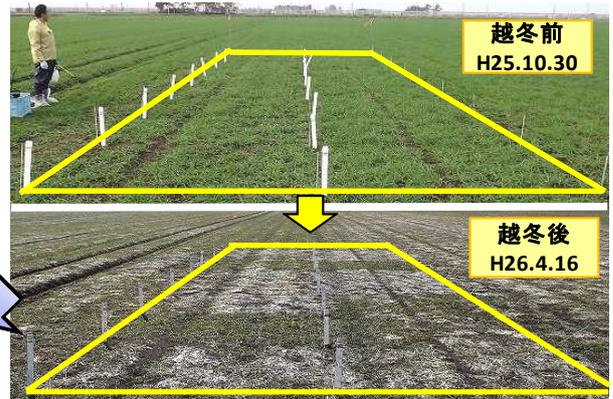


図2 「ゆめちから」の発病程度指数及び菌種割合

☆無防除や単剤処理は発病程度が高い！
 ☆褐色雪腐病の発生が多いと発病程度も高め
 ☆効果の高い組み合わせ
 ・フロンサイド+ランマン
 ・シルバキュア+ランマン

